

<b>授業科目名</b>	基礎看護技術演習 (2300302)		
<b>時間割名</b>	基礎看護技術演習 (13201)		
<b>時間割担当</b>	中馬成子 北島洋子 林文子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	月・3～4		

### 授業の目標・概要

基礎的な看護ケアについて、座学と学内演習を組み合わせ学習することにより、科学的根拠に基づいた思考力を伴った技術が展開できる能力を養う。また、臨床を模した学習環境に身を置くことにより、看護学を学習するにあたり必要な主体的な学習姿勢と態度を身につける。

### 学習の到達目標

すべての看護ケアに共通する基本的な知識と技術、自立した生活が困難となった人々に対する日常生活の援助技術、診療を補助する際の援助技術について、原理と原則に準拠し、安全と安楽を確保した基礎的な実践能力を習得する。

### 授業方法・形式

講義と演習

### 授業計画

1. 看護技術とは（看護技術を学習するための基礎知識、演習ガイダンス）講義
2. 環境の調整（環境調整の意義、療養環境のアセスメント、療養環境の調整と整備）講義
3. 環境の調整（ベッドメイキング、環境整備）演習
4. 環境の調整（ベッドメイキング、環境整備）演習
5. 安全管理（安全確保の基礎知識、誤薬、チューブ抜去、患者誤認、転倒・転落、薬剤・放射線曝露）講義
6. 感染防止対策（感染予防対策、洗浄・消毒・滅菌）講義
7. 感染防止対策（スタンダードプリコーション、滅菌手袋の装着・ガウンテクニック）演習
8. 感染防止対策（滅菌物の取扱、無菌操作）演習
9. 安楽の確保（安楽の概念、ホ？テ？イメカニクスの原理と看護実践への活用、安楽な姿勢・体位の保持、安楽を提供するためのケア、安楽を保つための療養環境の調整）講義
10. 活動と運動、休息と睡眠（活動と運動の意義、活動と運動に影響する要因、活動と運動のアセスメント、活動と運動を促す援助、療養生活におけるレクリエーション、休息と睡眠の意義、休息と睡眠に影響する要因、休息と睡眠のアセスメント、休息と睡眠を促す援助）講義
11. 活動と運動、休息と睡眠（移送・移乗・安楽な体位）演習
12. 活動と運動、休息と睡眠（移送・移乗・安楽な体位）演習
13. 清潔と衣生活（清潔と衣生活の意義、清潔と衣生活に影響する要因、清潔と衣生活のアセスメント  
清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助）講義
14. 清潔と衣生活（清潔と衣生活の意義、清潔と衣生活に影響する要因、清潔と衣生活のアセスメント  
清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助）講義
15. 清潔と衣生活（足浴）演習
16. 清潔と衣生活（足浴）演習
17. 清潔と衣生活（洗髪）演習
18. 清潔と衣生活（洗髪）演習
19. 清潔と衣生活（全身清拭）演習
20. 清潔と衣生活（全身清拭）演習
21. 呼吸、循環、体温調整（呼吸・循環・体温調整のアセスメント）講義
22. 呼吸、循環、体温調整（呼吸・循環・体温調整のアセスメント）演習
23. 呼吸、循環、体温調整（呼吸・循環・体温調整のアセスメント）演習
24. 呼吸、循環、体温調整（呼吸を楽にする姿勢と呼吸法、血圧・血流を保持する姿勢、酸素吸入の適応と方法、口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法、排痰法の適応と方法、体温調整のための方法）講義
25. 呼吸、循環、体温調整（呼吸を楽にする姿勢と呼吸法、血圧・血流を保持する姿勢、酸素吸入の適応と方法、口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法、排痰法の適応と方法、体温調整のための方法）講義
26. 呼吸、循環、体温調整（酸素吸入の適応と方法、口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法、排痰法の適応と方法）演習
27. 呼吸、循環、体温調整（酸素吸入の適応と方法、口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法、排痰法の適応と方法）演習
28. 呼吸、循環、体温調整（体温調整のための方法、温電法・冷電法）演習
29. 呼吸、循環、体温調整（体温調整のための方法、温電法・冷電法）演習
30. 技術チェック

### 成績評価の基準

定期試験（筆記・実技試験）50％，課題レポート30％，学習態度（取り組みの積極性・グループワークへの参加度）20％

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

技術とは知識、技能、態度の3つから構成されると言われ、この3つを統合していくことは大変重要です。また各単元は、密接に関連しており、学習の積み重ねが到達度を高めることとなりますので、欠席しないで、積極的に、かつ自主的に自己学習を反復、発展させ学習に取り組んでください。

## 履修上のアドバイス及び留意点

常に対象者に対する安全、安楽を考え技術を習得する。  
技術の根拠を講義で理解し、演習に臨む。

## 教材・教科書

テキスト

1. 茂野香おる:系統看護学講座、基礎看護技術 , 第16版, 医学書院, 2015.
2. 茂野香おる:系統看護学講座、基礎看護技術 , 第17版, 医学書院, 2017.

## 参考書

参考書については講義の中で適宜紹介する。